

新田氏 友愛會を口からツ組の残る故に根本的は出来無い。

西牧氏 解僱者も善良なりと認むるは臨時なり、時機を待って常備にする事も出来るが、或は一般の思ひ込みなつてよいと思ふ。

得能氏 其事は非常な良い方法でありませう。

西牧氏 然しなから吾々一同が認めてからたぞ。

野呂氏 認められる様は人なら始めから會社も首を切られはし。

西牧氏 さうでないなら、君達の内より最前より種々と申附、もう入れたら、人がある下せつ。

中村氏 然し或る工場は非常な安い労銀の者があつて其れを昇給させて貰ふたい。

串畑氏 其の話は個人的の事だから止した方がよい、後日更に改めて充分な此際昇給して貰ふて解決をつけるか、よい。

笹子氏 其れは絶体は出来無い。

串畑氏 そんなら判つた者がよいと思ふ、若者は臨時職工も使つて貰ひたい。

笹子氏 認めるなら一般のね。

串畑氏 昇給はないとて、門が開けて努力の結果を依つて昇給をするが、今一寸西牧様なり休内標の口より漏れた標だつたが。

西牧氏 いや先は先として此際は絶体は出来無いと言ひた。

新田氏 眞面目に認めて開門して下されはよい。

各善良 其事は會社側は任すがよい。昇給させせん、時機は吾々は任す事だ、此合の手段は初めからいけ無い。是故に彼の案が出たのだから。

串畑氏 昨日の通りとするなら解雇職工の中は善良の者を臨時として直ぐ入れさせようか。

得能氏 此際をれをするに次々と種々な事情が出来てくるから。

山内氏 君達が今度の解雇者の中は良い者があつてと言つても工場の規則も反した言ふを、まや、こゝろから、是人は善者を一人でも入れたら其者の為の後大勢が